

案件概要書

2013 年 2 月 26 日

国際協力機構中南米部南米課

1. 案件名（国名）

国名：パラグアイ共和国

案件名：コロネルオビエド市給水システム改善計画

(Project for Improvement of the Drinking Water System for Coronel Oviedo City)

2. 事業の背景と必要性

(1) 当該国における水セクターの開発実績（現状）と課題

パラグアイでは、全人口（約 650 万人）の 70.4%（2007 年）が上水道等の給水施設にアクセスしているものの、依然として、残りの約 30%が安全な水を利用することが出来ない状況にあり、給水施設の拡充が求められている。

(2) 当該国における水セクターの開発政策と本事業の位置づけ及び必要性

同国政府は 2009 年に策定した「社会開発公共政策（通称：Plan 2020）」において、特にミレニアム開発目標の 2015 年給水普及率目標値である 80.5%を早期に達成するよう取り組んでおり、また、「社会経済戦略計画」においては「貧困削減のための社会投資の増加」、「公共サービスのアクセス改善」を掲げており、本事業は同政策、計画にも合致するものである。

(3) 水セクターに対する我が国の援助方針

我が国は「格差是正」、「持続的経済開発」を対パラグアイ援助の重点分野と定めており、本事業は「持続的経済開発」の下で開発課題として設定されている「経済・社会インフラの充実」に資する案件として位置づけられている。

(4) 他の援助機関の対応

世界銀行が農村部に 874 箇所の給水施設を設置するための資金として総額 80.8 百万ドルの融資を実施してきたが、対象地域が異なるため、本件との重複はない。

3. 事業概要

(1) 事業の目的

本事業はコロネルオビエド市において、同市の需要に適した浄水場、送水管等の水道施設を整備することにより、同市の住民に対して安全かつ安定した水供給を図るものである。

(2) プロジェクトサイト/対象地域名

カグアス県コロネルオビエド市（給水対象地）及びグアイラ県ジャタイトゥ市テビクアルミ（浄水場建設予定地）

(3) 事業概要

- 1) 土木工事、調達機器等の内容：取水施設（ポンプ設備更新）、浄水場の新設、送水管・導水管約 24km の敷設など
- 2) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容：急速濾過浄水場の運転・管理技術、機器保全技術などに係るソフトコンポーネントの実施を想定。
- 3) 調達・施工方法：協力準備調査にて確認

(4) 事業実施体制

本事業は水衛生セクター監督官庁である公共事業通信省水衛生部が実施し、パラグアイ衛生サービス公社（ESSAP）が運営・維持管理機関となる。

(5) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1) 環境社会配慮

① カテゴリ分類： B

② カテゴリ分類の根拠： 本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010 年 4 月公布）に掲げる影響を及ぼしやすいセクター・特性及び影響を受けやすい地域に該当せず、環境への望ましくない影響は重大でないと判断されるため。

2) 貧困削減促進等： 浄水場新設による、水質改善及び給水量増加により、貧困層にも良質且つ安定した給水がされるようになる。

(6) 他スキーム、他ドナー、他案件等との連携： 世銀が 2010 年より「水セクター近代化プロジェクト」を開始し、ESSAP の制度・組織体制の強化、経営効率の改善、無収水対策などを実施。特に、都市給水施設の運営・維持管理体制の強化、無収水対策に係る技術力の強化については、同プロジェクトの成果が本事業にも裨益するため、積極的に連携・活用していく。

(7) その他特記事項： 特になし。

4. 過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

(1) 類似案件の評価結果

グアテマラにおける浄水場の改修整備事業の評価等では、的確で効果的な上水道施設の運転・維持管理体制を構築するために、ソフトコンポーネントにおいて、実際に現場で運営管理にあたっている職員に対して、技術指導を行うことが必要とされている。

(2) 本事業への教訓

本事業においても、的確で効果的な上水道施設の運転・維持管理体制を構築することが、事業の持続性の観点から重要であるところ、運営管理に関する技術指導をソフトコンポーネントで実施する予定。

以上

〔別添資料〕 地図

【コロネルオビエド市給水整備事業 サイト図】



コロネルオビエド市
(給水対象地)

ジャタイトゥ市
テビクアルミ
(浄水場建設予定地)